

小学校

s 2-3

時刻と時間

2学年

【ねらい】

時間について理解し、それをを用いることができる。

【特徴】

◇ 時計の針が動くので、時間の移り変わりを視覚的に捉えさせることができます。

【関連する単元】

◇ 小学3年「時刻と時間」

TOP ページに戻る

▶ 時間を求める

▶ 時こくを求める

【活用場面】 導入段階の課題提示、算数的活動の後の検証



時間についての感覚を高めます

時間の移り変わりを動的に見せることができるため、時間を量として捉えさせることができます。

- ◇ 日常的に行っている場面と時刻について話し合います。
- ◇ 場面と場面の間の時間の移り変わりの例(3例)を、動的に提示し、時間の量感と共につかませます。
- ◇ その他の場面と場面の間の時間について、時計の針の動きと合わせて考えさせます。



時間の単位についての理解を深めます

設定した時刻から、30分または1時間ごとに動的に時間を戻したり進めたりできるため、時間の単位についての理解を一層深めることができます。

- ◇ 設定した時刻から、30分を単位として移動させることを課題とし、考えさせます。
- ◇ 長針と短針の動きを予想させた後、実際に動的に示し自分の予想した動きとの相違について振り返ります。